

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
包帯2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	難波 英樹			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
柔道整復師に必要な包帯の巻き方について学びます。											
到達目標											
多くの場合、巻き始めや巻き終わりに使う環行帯や第1行に第2行を1/2から2/3重ねて走行する螺旋帯、第1行と第2行の間に間隔をあけて螺旋状に巻いていく蛇行帯、包帯の走行を変更する場合や太さが一定でない部位を巻くときに使用する折転帯、主に屈伸運動を行う関節に用いられる亀甲帯といった基本包帯法の理解や金属副子や副木、厚紙副子といった硬性材料の作成、軟性材料の適切な使用方法を探求する力を身につける。											
授業方法											
この包帯とは柔道整復師の行う施術法の中に含まれ、患部の安静を図るなどの手段として理解をする学問である。授業形態は、主に実技中心で包帯2では包帯に関しての応用知識を習得し、最適な固定材料の選択の仕方を学び、各部位での最適な固定技術を習得する。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書（包帯固定学 一般社団法人全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	アルミ副子について										
第2回	アルミ副子固定のポイント										
第3回	熱可塑性キャスト材について										

第4回	テーピングについて
第5回	手指（PIPJ）や腱鞘炎のテーピング
第6回	鎖骨骨折のポイント(1)
第7回	症例報告と三角巾
第8回	振り返り(1)
第9回	鎖骨骨折のポイント(2)
第10回	肩関節脱臼の固定方法(1)
第11回	肩関節脱臼の固定方法(2)
第12回	厚紙副子の種々な作製と固定例
第13回	肘関節後方脱臼の固定法
第14回	救護の症例紹介
第15回	振り返り(2)